

私たち「けいたんずつ」は、人間福祉学科で、福祉を勉強しています。施設で介護実習をしたり、障害者と接したりしているうちに、この大館市は、障害者にとって住みやすい街なのかと疑問がわきました。

そこで、昨年1年間、大学の授業の合間に、大館の街がバリアフリーになっているのかを調べてみました。特に、車いすで生活するのに快適な街かどうかにもスポットを当て、実際に車いすを使って体験してみました。その結果を報告したいと思います。

「バリアフリー」とは障害者や高齢者が、日常生活を送るうえで、いろいろな障害が無い状態（例えば、狭い廊下、床の段差、路面の凸凹などが解消されている状態）

活発な意見交換

大館市身体障害者

協会連合会

6月8日、大館労働福祉会館で大館市身体障害者協会連合会定期総会が行われました。私たち

も皆さんの生の声を伺うため、参加してみました。参加者は、各地区協会の会長など、およそ30人程市に対する要望書を出すなどいろいろな活動をしていることがわかりました。

① どのような団体があることを今まで知りませんでした。参加してみても、意外に参加者が多く、積極的に意見交換を行っていて少し圧倒されました。

② 現在、大館市には約3,000人の身体障害者がいて、その半分ぐらいが会員なのだそうですが、年々会員が減少していることと、会員が高齢化していることが問題になっていました。

車いす利用者の声

③ 実際に、車いすを常時使っている方々に、普段の生活の様子や不便な点についてお話を伺ってみました。お話は30代、50代、60代の男性3人に伺いました。

① 外出の状況
外出の目的は？
病院、買い物、会議、サークル活動など
不便な場所は？

・階段、駐車場（行く先々はほとんどが不便という意見もあった）

使いやすい場所は？

・バリアフリーになっている所、床の凸凹の少ない所

・行ってみたいところは？

・公園、山、自然を楽しめる場所

・誰と一緒に外出するか？

・妻、母親、ほとんど1人。

② 交通手段

・タクシーは？

・乗ると便利だが、お金がかかる。冠婚葬祭やお酒を飲んだときなどに利用する。

・バスは？

・車いすマークの付いたバスは走っているが、実際に乗るには不便。

・家族や自分の車は？

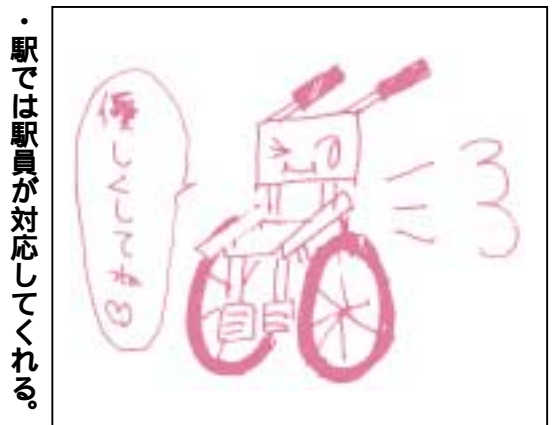
・毎日使っている。どこへでも行けるし、便利。しかし、不便な駐車場がある。

③ その他

・家族の協力を得られている。
・社会の偏見を感じるが気にしない。

・床屋では、車いす用のシャンプー台が無いので、シャンプーをせずに、カットだけする。
・福祉サービスは、特に使っていない。

・駅舎前の歩道の凸凹が通りにくく、駅には車いすで入れるトイレが無い。



・駅では駅員が対応してくれる。
④ 市への要望

・車いすで使えるトイレをもっと造って欲しい。

・中央公民館にエレベーターを設置して欲しい。

・身体障害者用の駐車場がふさがっているのを、確保して欲しい。

・スポーツができる施設は結構あるが、車いす対応のホテルが無い。公共施設的なものがあればよいと思う。

取材してみて、私たちが思っていた以上に、車いすの方々は活動的だと思いました。普段出かけている病院や買い物、サークル活動、また、行ってみたい場所など、私たち健常者と何ら変わらな